２学期「命の週間」における芝山小学校の取組

主な取組	具体的な内容	○学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
始業式	・講話の中で、命の大切さについて触れ、悩みを相談するよう促した。	地震被害の話から、災害時に命を守る防災意識を高めるとともに、悩み等を一人で抱え込まず、相談することの大切さを伝えた。スクールカウンセラーの活用等、今後も校内の教育相談体制の充実を図る。
学級指導	・命の大切さについて、改めて指導した。	朝の会、帰りの会等、機会を捉え行った。今後も折に触れ、継続して指導する。
道徳授業	・道徳授業において、命の大切さについて取り上げた。	「かけがえのない命」について考え議論する授業を行った。今後も年間指導計画に基づき、生命の尊さ、思いやり、親切、人権尊重等について扱い、自他を大切にし、生命を尊重する心情や態度を育てる。
教員研修	・命の教育の大切さや児童の命を守ることについて、全教員に再確認した。	２学期の始まりに子供の自殺や不登校のリスクが高まることについて共通理解し、児童の様子をきめ細かく見ることについて、全教員で一致して取り組むことができた。情報共有しながら、今後も全校体制で児童を捉え、対応していく。